

## 目次



- [操作方法](#)
  - [1.保護設定](#)

文書申請時の「保護設定」の初期値を設定します。

### 保護設定

☒ 閲覧途中の宛先、閲覧順の変更を許可する

☒ 閲覧途中でのテキスト追加を許可する

☒ 閲覧時の捺印を必須とする

☒ 閲覧時のメールに企業名を表示する

☒ 申請時にアクセスコードで文書を保護する（社内用）

r5pm6e

☒ 申請時にアクセスコードで文書を保護する（社外用）

9kebqk

### 再通知設定

## 操作方法

### 管理者画面

#### 1 保護設定

1. 管理者画面左側のメニューの [ 全体設定 ] > [ 環境設定 ] をクリックします。
2. [ 保護設定 ] タブをクリックします。
3. 申請者による保護設定の変更を許可する場合は、「以下で指定した設定内容を、申請者が申請時に変更することを許可する」にチェックを入れます。

保護設定

以下で指定した設定内容を、申請者が申請時に変更することを許可する
☒ 許可する

・ 閲覧途中の宛先、閲覧順の変更 ⓘ

☐ 許可する
☒ 許可しない

・ 閲覧途中でのテキスト追加 ⓘ

☒ 許可する
☐ 許可しない

・ 閲覧時の捺印 ⓘ

☐ 必須にする
☒ 必須にしない

・ 閲覧時のメールに企業名を表示する ⓘ

☒ 表示する
☐ 表示しない

・ 申請時にアクセスコードで文書を保護（社内用） ⓘ

☒ 保護する
☐ 保護しない

・ 申請時にアクセスコードで文書を保護（社外用） ⓘ

☒ 保護する
☐ 保護しない

更新

4．保護設定の初期値を設定し、右下の [ 更新 ] をクリックします。

「許可する」を選択した場合、閲覧先設定画面の保護設定はチェックが入っている状態が表示されます。

#### 【設定項目】

閲覧途中の宛先、閲覧順の変更

閲覧先で、宛先や閲覧順を変更する許可を与えます。

閲覧途中でのテキスト追加

閲覧先で、文書にテキスト追加をする許可を与えます。

「制限設定」でテキスト追加を許可していない場合、表示されません。

閲覧時の捺印

必須にする場合、各承認者は1回以上捺印しないと承認ができなくなります。

閲覧時のメールに企業名を表示する

閲覧メールに本文に記載される送信者名の前に企業名を表示します。

申請時にアクセスコードで文書を保護（社内用）

社内ユーザーへ閲覧をする際にアクセスコードで保護します。

アクセスコードの内容は、申請者が変更できます。

申請時にアクセスコードで文書を保護（社外用）

社外ユーザーへ閲覧をする際にアクセスコードで保護します。

アクセスコードの内容は、申請者が変更できます。